



インスピレーションになろう

バリー・ラシンR1会長

郡上長良川ロータリークラブ

会長テーマ

繋ごう未来へ (心に残る 40 周年記念式典をみんなの力で)

会長：美谷添里恵子 副会長：山下誠 幹事：畑中知昭

第1931回 平成30年 12月 5日(水)

本 日 の 行 事 会 員 卓 話

2018-19 年度

美谷添里恵子会長

幹事報告

畑中知昭幹事

- * さくら道ネイチャー実行委員会より
回想録拝受
- * 一般財団法人比国育英会バギオ基金より
2017 年事業報告書と寄付のお願い
- * ガバナー事務所より

- ・ ロータリーショップの案内
- ・ 12 月疾病予防と治療月間リソースの案内
- ・ ガバナー事務所 年末年始休暇のお知らせ
12 月 28 日~1 月 4 日
- * 週報拝受 美濃・関中央・各務原中央 R C
- * 例会変更 関・各務原 R

第 1 9 3 0 回例会

会長挨拶

2018-19 年度 美谷添里恵子会長

皆さん今晚は、先週お話しした会社の部長が亡くなって2週間が経ちました。今日御家族の方が挨拶に見えましたが、まだ亡くなったことが信じられないと言って見えました。ご本人は、うちの会社に勤めたことをとても喜んでいてと言っていました。私も彼がうちに来てくれて、主人亡き後、いろいろ相談に乗ってもらえて本当に助かりました。しかしあまりにも突然のあっけない別れがやってきました。でもどう思っても仕方がないことと受け入れるしかありません。

私が最近感じていることを述べさせていただきます。「日本の30代は期待出来る」というテーマですが、「ガイアの夜明け」というテレビ番組で取り上げられていた2人の30代の青年実業家たちの話です。日本のエネルギーの将来を心配していて、1人は太陽光のパネルを日本全国40カ所捜し歩いて、設置をして経営していました。太陽光も買い取り価格が下がってきて、合わない時代になってきます。送電線の資格を取っている人が、使っていないのに送電線の権利を持っていて使ってもらえないので、せっかく発電していても使う事が出来ないと捨てなくては行けないなど問題が山積みだそうです。その30代の社長さんは、日本の将来はやはり自然エネルギーが大事なので何とか生き残っていきたく、すごく大変だが、何とか解決の糸口を見つけるよう前向きな事を言って見えました。もう一人の方は、台風を使った風力発電をしたいと云う方で、資源のない日本では、原子力発電は必要だと最近まで思っていたが、東日本の地震があつて原発被害が出て、やはり原発は日本にこれ以上増やしてはいけない。未来の子供たちの為になくす方向でなくては行けないと強く感じ、自然エネルギーでは風力発電がいいのではないかということでした。現在の風力発電の羽根は風が強いと羽根が折れてします。そこで台風のような大きい風を筒型の装置を作って発電をしたらどうかと考えて、研究してみえました。私は台風が来るたびにこのエネルギーを何かに使えないかと考えていたので、こんな使い方もあるのかと感心しました。まだ研究段階ですが、日本は台風の時期が秋に集中していますが、その実験を沖縄ですて成功したとのことでした。フィリピンは台風が来るとすぐ停電してしまうので、是非その装置を使いたいと云う事を言って、実験をしながら設置して見るということでした。この風力発電が実用化すれば、かなり多くの電力の供給が可能になる。子供や孫の時代までにクリーンエネルギーを増やしたい。30代の若い社長が真剣に取り組んでいて、頼もしくワクワクして聞いておりました。

もう一人の方は飛騨の方で、ケンブリッジ大学を卒業して外資系の銀行に勤めていましたが、飛騨市に外国人観光客向けのツアーをやったらどうかと会社を立ち上げ、町屋を1軒貸し切って宿泊事業を始められたそうです。イギリスの旅行者と提携してツアーを企画するとお客がどんどん来て、地元の人たちも参加しながら、飛騨市の活性化を進めていると新聞に載っていました。地元の人たちと交流を通じて地元へ恩返しをしたい、先輩たちが守ってきたものを10年、20年後の飛騨市にとって何が必要かと考えて事業をしていました。その人も30代、最近の30代は期待できるなとテレビ新聞で見ましたので、紹介させていただきました。

米山奨学生受入について

財団・米山委員長 島崎秀樹君

1 米山記念奨学金とは

会員からの寄付のみを財源として行う、日本のロータリー独自の他地区合同の活動。

日本の大学・大学院などで学ぶ外国人留学生在が対象。将来、日本と母国との懸け橋となる優秀な人材を育成。

2. 世話クラブ・カウンセラー制度とは

米山奨学事業を円滑に行う為の補助制度、奨学生と世話クラブの連絡、相談係。

3. クラブにおける奨学生の立場

クラブメンバーとして、SAA, 親睦などの委員会に所属。月1回例会に出席をして、奨学金を受け取る。

4. クラブ経費と補助金

留学生・大学最寄駅から会場最寄駅までの交通費（奨学金とは別途支給）、例会会食代、親睦費、地区大会等の登録費、宿泊費（例会の帰りが遅くなった場合）

* 当クラブは夜例会と交通の便が悪いため、多く支給してもらうよう地区に相談。

* 岐阜駅 3時半頃のバス乗車。白鳥に5時到着。帰りは長良川鉄道を利用（20時27分発、岐阜駅 22時17分着）

10万円以上の経費が掛かる。6万円以上はクラブ持ち出しとなるが、どこから出すか検討してほしい。

カウンセラー・年3回の研修参加にかかる交通費

補助金は年間4万円（7月振込み）

5. 奨学生受け入れ準備と年間計画

2018年11月 説明会 2019年2月 世話クラブへ受入奨学生氏名公開

2019年4月21日 入学式、カウンセラーと奨学生の対面式 5月～月1例会出席と奨学金の授与

2020年 3月卒業式

* 奨学生が例会出席するのは10回。

会員3分間スピーチ

和田良一君

このごろ新聞を見ても情けないような話が沢山あります。僕が心配しているのは、会長が言われましたように、30代というのは優秀な人が沢山出て来てはおりますが、逆に今、パソコンやスマホなどの依存症が多いような気がします。僕の息子も仕事の合間にちょくちょく見ていて心配しています。確かになんでも知ってはいますが、人と触れ合ったりした方がいいのではと思ってしまう。娘でもそうですが、お母さんに例えば漬物や煮豆の作り方など教えてもらえばいいですが、自分で調べて反対にお父さん煮豆こうやった方が美味しくできるよと教えてくれます。料理家の先生の味など、確かに味は美味しいですが、昔は親から習って、そこからコミュニケーションやその家庭の味が出てくると思います。今の若い人は何でもできるし何でも知識をもてるし理想だと言えますが、夢のある人に育てるにはどうしたらいいのかと、考えてしまいます。子供では無理ですので、孫に期待して優秀な学力ではないですが、社会に役立てるような素敵な人間になってくれればと考えています。

ニコBOX

ニコBOX委員会 藤代昇君

美谷添里恵子君 11月も残すところ3日になりました。12月になると益々忙しくなります。風邪をひかないように気を付けましょう。

同文 和田君、旭君

畑中君 来年は米山、どんな子が来るか楽しみです。

藤代君 中国へ農業実習生の面接に行って来ました。中国も給料が上がって、中々来てくれる人が少なくなってきています。大根農家ですので日本人が仕事に来てくれないので、中国人頼りなのです。

山下君 遅くなることが多いので申し訳ありません。もうすぐほぼほぼ完成に近づいております。島崎さん、財団の発表御苦勞様です。勉強させて頂きます。

岩谷君 先日の連休に京都へ行って来ました。なるべく人ごみの少ない所と思い、たかが峯と一乗寺へ行き、晩秋の京都をゆっくり楽しんできました。

寺田正実君 駅前公園のイルミネーション綺麗に飾られています。見てやってください。

(本日 8,000円 累計 436,500円)

次回例会予定

12月12日 家族忘年会（覇楼館） 12月26日 休会

12月19日 年次総会 1月 2日 休会

出席報告

出席委員会 山口里美君

	会員数	出席者数	欠席者数	補正者数	出席率
第1928回	34名	26名	5名	2名	84.85%
第1929回	34名	20名	10名	3名	69.7%

